

広報

くどがま

2022
1 月号
No.555



笑がオーで過ごせますように！

寅 年生まれ

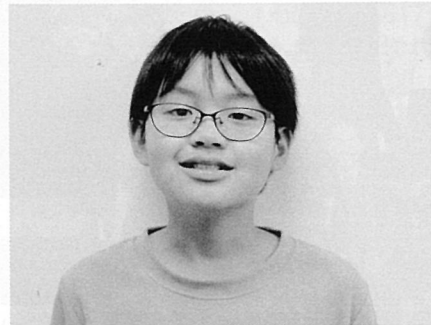
年頭によせて



2022年の町内の年男・年女は290名です。

今年も年頭によせてさまざまな「思い」をつづっていただきました。

僕の絵



九度山小学校5年 福本 薫さん

新年明けましておめでとうございます。

僕は絵を描くことがとても好きです。だから将来の夢は、マンガ家です。

マンガを書いて、世界の人に笑顔をとどけたいからです。そして絵が上手で有名な人になりたいと思っています。今はコロナであまり外に行けなくなり、家の中にいる方が多いと思います。そんな時、好きなマンガを見ていると楽しくなって、いろいろ想像できます。だから、そのマンガ家のように人を楽しませることができるマンガ家になりたいです。

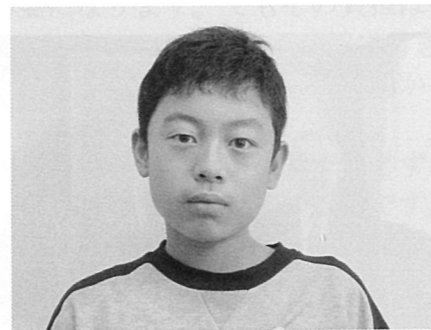
あと少しで、最高学年の六年生になります。六年生らしい学校生活を送り、低学年のあこがれの存在になりたいです。

これからも、夢に向かってがんばります。

チャレンジすれば楽しくなる

ぼくは、お宮参りの写真で見た神社の寅の絵馬が、また見られるのがとても楽しみです。小さいころは、みんなより体が小さく不器用で、走るのおそかったです。また、水がこわくて、顔つけができなかったです。初めは、水泳を習う事がとてもいやでしたが、二歳年下の弟といっしょにがんばりました。何度もやめたくはなかったけれど、弟がいてくれたからがんばることができました。二年生からドッジボールクラブに入り、毎週練習をしました。六年生になって、ご飯がたくさん食べられるようになって、身長が伸びました。

今では、週二回の水泳がとても楽しいです。また、ドッジボールでも友達が増えてとても楽しいです。ぼくは、自分と同じように、不器用で悲しい気持ちになっている子がいたら、チャレンジすることの大切さを伝えたいです。



九度山小学校6年 堀江 晟心さん

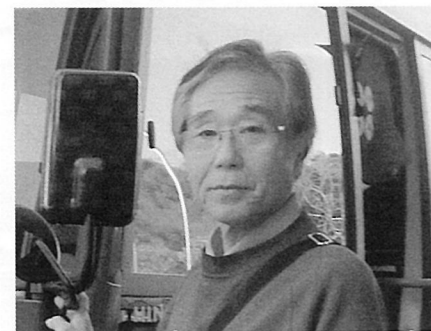
新年を迎えて思うこと

「新年明けましておめでとうございます」

今年が寅年と言う事で、一言申し上げる機会を頂きましたことに感謝です。

私は佐賀県で生まれ育ち、若い頃に大阪に出て来ておりました。そして三十代に縁があり九度山町に住まいすることになりました。その頃は人と関わるのが大の苦手で、地区での付き合いと役をさせて頂くのがやっとでした。でも関りの必要性を感じつつもありました。五十代後半だったでしょうか、まごころ弁当の配食の手伝いをさせてもらうようになり「ありがとう」と共に頂く笑顔に癒され元気付けられるようになっていました。

今も現役で大阪に勤めに出ておりますが、私の居場所はここ九度山です。地域の皆様と共に笑顔で暮らせる街づくりをのんびりと目指したいと思っています。



永橋 正人さん(稲荷)

令和3年 新年のごあいさつ

新たな時代に向けた「日本一元気なまち」へ



新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆様方には、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より町政の推進に温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去年は、引き続き新型コロナウイルス感染症の流行により、まだまだ心安まる日常を取り戻すには至りませんでした。町では水道料金や給食費の無償化やゴミ袋の無料配布、またコロナに負けず事業を継続していただくための支援金制度を設けるなど町民の生活に寄り添った政策を行って参りました。町を代表する「真田まつり」や「大収穫祭 in 九度山」などほとんどの行事は中止を余儀なくされましたが、「くどやま芸術祭」については感染対策を徹底し実施することが出来ました。町内外から沢山の来場者が楽しんでる姿を目の当たりにし、コロナ禍ではありますが地域活性化にはイベントの必要性を強く感じたところであります。しかし、新型コロナウイルス感染症につきましては残念ながら新たな変異株が発見されるなど、決して出口が見えたとはいえない状況であります。

このような状況で新年を迎えるわけですが、まず町民の皆様におかれましては今一度手洗いやマスクの着用等感染症対策を徹底していただき、まずご自身の健康維持に努めていただきますよう強くお願い申し上げます。町としましては今後開始されます三回目のワクチン接種を安全かつ速やかに実施し、町民の皆様の健康そして生活を守る対策を最優先に行って参ります。そのうえで with コロナの時代に対応した諸施策を実施し町民の皆様一人一人が充実した生活をこの九度山で過ごしていただけるよう精一杯努力して参る所存であります。

明けない夜はないと言うように必ずコロナは落ち着いてきます。今こそ町民の皆様と「知恵と対話」により新たな時代の「九度山町」を創造し「日本一元気なまち」を目指したいと考えております。

どうか皆様方には、引き続き格別なるお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健勝ご多幸を祈念し、新年の挨拶といたします。



「税についての作文」九度山町長賞

全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が募集した令和3年度中学生の「税についての作文」は、審査の結果、九度山中学校3年生の福本あみさんの作文が九度山町長賞として選出されました。



▶右 福本さん

◎九度山町長賞 「税金に助けられていた」

九度山中学校 3年 福本 あみ

所得税・住民税・自動車税…私は税金と聞いてもいまいよく分からなくて、何のために税金を払っているのか分かりませんでした。でも税金のことを調べて知っていくうちに、「税金に助けられていたんだ。」と気づきました。

税金は、国費・公費をまかなうため、国、地方公共団体が国民・地域住民・消費者などからとりたてる金銭のことだそうです。そして税金は、街や道路の整備、病院や市役所、災害対策などで主に使われていて、他には公園などの整備、私たち学生に必須な学校教育に使われ、具体的には教科書の配布などに使われるそうです。このように税金は、私がいあまり意識したことがなかったところでたくさん使われていました。税金は私たちの生活になくってはならないものだと分かります。

そこで、私は今までの体験の中で、税金に助けられたなと思うことがいくつかありました。

私は5人家族で全員がアレルギー体質で、猫や犬と触れあったりすると少し体調が悪くなってしまう。今は5人とも少しましになりましたが、それは病院でアレルギーの薬を処方してもらって毎日服用していたからでした。その薬を毎日飲むためには薬代がたくさん必要になります。でもその負担は税金によって軽減されています。しかも私の家族5人の内1人はアトピーを持っていて、よく病院に行き、薬をもらってきます。なので、税金のありがたみが分かりました。このように、税金のおかげで助かっていることは意外にも、身近な場所にあるのです。

他には、私たち学生にとって一番身近な存在である学校。学校では毎日授業があり、授業では必ず教科書を使います。その、私たちにとってなくてはならないもの、教科書も税金で補われているのです。知っている人も多いですが、身近で大切な存在だからこそ、税金のありがたみが分かり、大切に使うと思えます。身近なものでいうと、街の道路や環境、最初にもあったような、当たり前と感じることが税金によって成り立っていたりすることが多いのです。

私は今まで、税金を払う意味、税金の必要性を全く知らずに過ごして来ましたが、自分自身が身を持って、税金のおかげで助かっていたんだと知ることができました。税金のありがたみ、大切さ、それらをしっかりと分かってこれからを過ごしていきたいと思えました。今の現状、税金の負担は増えていますが、いつかさまざまな問題が解決へ向かい、税金の負担が減り、皆が税金のありがたみを知ってくれればいいなと思いました。

第4回森の秋コンサートが開催されました。



11月20日、くどやま森の童話館において、第4回森の秋コンサートが開催されました。

今回は、おなじみのチェロ奏者であるロビン・デュピイさんをはじめ、ピアニストの近藤美穂子さんにもお越しいただきました。演奏会では、童話館に大きな暗幕を設置し、レーザー光線での演出など、見ても楽しい演奏会となりました。

51名の方が参加され、大盛況で幕を閉じました。

九度山町功労者表彰式を開催

11月3日、ふるさとセンターにおいて、九度山町功労者表彰式が開催されました。

この表彰は、公共の福祉増進に功労のあった方やその他広く町民の模範となるべき方を表彰して、その功績をたたえることを目的としています。今年の実賞は、9名1団体の10賞となりました。今後、2年に1回の開催とし、功績のあった方々を表彰します。

今年受賞された方々は以下のとおりです。

受賞者のみなさん（順不同）

自治功労 志野 悦司 様

藤田 正良 様

交通安全功労 諏訪 稔明 様

保健衛生功労 狭間 歌子 様

教育文化功労 阪中 章剛 様

宮本 正雄 様

狭間 歌子 様

津田 満雄 様

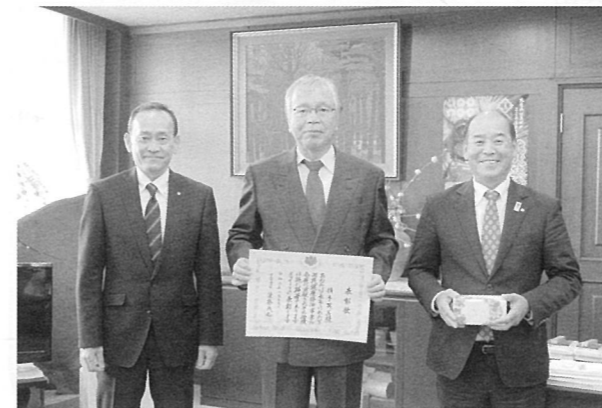
故 萱野 正己 様

農林業功労 中谷 裕一 様

観光功労 九度山町住民クラブ 様



国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰を受賞



本町国民健康保険運営協議会委員の横手英義さんが、多年にわたり国民健康保険事業の発展に貢献された功績をたたえられ、国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰（今回の受賞者は県内で2名）を受賞されました。

◀横手英義さん（中央）、伊都振興局長（左）

消防車両の引渡式を実施

11月4日、ふるさとセンター玄関前において、消防車の引渡式が行われました。

今回、第4分団丹生川班に、小型動力ポンプ消防積載車を更新・配備しました。

小型動力ポンプ消防積載車は、消防活動の主力となる車両で、持ち運びが可能な可搬式の小型動力ポンプを積載するものです。

今回の配備により、九度山町消防団の消火活動能力のさらなる向上が期待されます。



“りいぶる”語り合い広場

「多様な性を知ろう」～身近な人からのカミングアウト～

「性的少数者」に関する言葉は社会的に少しずつ知られてきていますが、「性的少数者」の様々なテーマについての知識や理解はまだ十分とは言えません。この講座は、「性的少数者」への理解を深めるとともに、家族や友人等、身近な人からカミングアウトを受けた時の対応を講演とワークショップの形式で学ぶことを目的に開催します。

講師はフェミニストカウンセラーであり、また、ご自身の家族が当事者でもあるため、ジェンダーの視点に立った実際的な話を聞いていただけます。

- 日 時 令和4年1月16日(日)午後1時半～午後3時半
- 場 所 橋本市教育文化会館 3階第1研修室
- 講 師 いわたに てるこ氏(カラフルチャイルド代表)
- 定 員 30名(先着順) 参加費無料
- 一時保育 無料・定員あり先着順(1歳～小学2年生まで)要申込み(1月12日まで)
- 申込方法 郵送・電話・FAX・Eメールにて ①名前②住所③連絡先④一時保育の有無を連絡
- 問い合わせ 和歌山県男女共同参画センター“りいぶる”
640-8319 和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛9階
☎073-435-5245 FAX 073-435-5247 Mail libre@sirius.ocn.ne.jp

「知ってください。自筆証書遺言書保管制度」

高齢の父が亡くなり、残された娘姉妹が遺産の分割で言い争いになりました。東京で暮らす妹は「実家の土地建物や田畑は姉さんに譲る代わりに預貯金全部を私がいただくわ」と主張しますが、実家に暮らす姉は「田畑の管理は大変で相続するだけ大赤字なのに預貯金も私が相続しないと割に合わないわよ」と一歩も譲りません。「そんな私には何も残らないから全部売り払ってお金にして分ければいい」と妹が言い返しても、姉は「先祖代々受け継がれてきた土地だから手放せないわよ」とお互いの主張は平行線のまま。こんなときに亡くなられた父の遺言書があれば、大切な娘たちは言い争いにならなかつたかもしれません。

遺言書は、次世代に残す故人の意思であり、残された親族間の紛争を未然に防ぐものです。ご自身で作成された遺言書を法務局へ預けることで、より安心なものとなります。あなたの大切な遺言書を法務局が守ります。自筆証書遺言書保管制度をぜひご利用ください。



- 問い合わせ 和歌山地方法務局橋本支局
橋本市東家5丁目2番2号 ☎0736-32-0206

“スマホ”の講習会が開催されます。「デジタル活用支援推進事業」のご案内

もっと活用したい方は参加してみませんか?

スマホの基本的な使い方から、様々な手続き方法まで、デジタル初心者でも安心してスマホの活用方法を学べる講習会です。

現在、伊都・橋本エリアにおいては、a u ショップ高野口で講習会が開催されています。事前に予約が必要ですが、a u 以外の携帯会社のスマホをお持ちの方でも参加することができます。

※この講習会は、総務省の補助事業です。商品やサービスを販売することはありません。

注：a u ショップでおこなわれている他の講習会の予約と区別するため、予約の際には、「広報くどやまをみた。」とお伝えください。

- 問い合わせ
 - 講習会申し込み : a u ショップ高野口 (☎0736-44-1750)
橋本市高野口町大野 265-3 (10:00～19:00)
 - 事業の問い合わせ: 日本データ通信協会 デジタル活用支援センター
(☎03-5974-0129)



▲専用ポータルサイトQRコード



第38回和歌山地域SC選手権クラブ対抗水泳競技大会にて優秀な成績!!

10月24日、和歌山市秋葉山プールにて、第38回和歌山地域SC選手権クラブ対抗水泳競技大会が開催され、優秀な成績を収めました。



▲山本峻生さん 10才以下男子の部 200m個人トレー 1位 100m自由形 2位	▲速水香苗さん 10才以下女子の部 50m自由形 2位 50m背泳ぎ 4位 100m背泳ぎ 5位	▲中野凧彩さん 11～12才女子の部 50m平泳ぎ 2位 100m平泳ぎ 3位	▲安念佳音さん 11～12才女子の部 50m平泳ぎ 6位 100m平泳ぎ 5位	▲大谷碧依さん 13～14才女子の部 50m背泳ぎ 5位 100m背泳ぎ 6位
--	--	--	--	--

九度山ジュニアソフトテニスクラブが優秀な成績!!

10月16日、第25回和歌山県小学生ソフトテニス秋季選手権大会が有田川町の金屋テニス公園で開催され、優秀な成績を納めました。

なお、入賞ペアは、令和4年1月29日(土)～30日(日)に滋賀県・長浜バイオ大学ドームで開催される第25回近畿選抜インドアソフトテニス大会に出場します。



男子の部 優勝 中邑 夢弥(6年)・林 寿李稀(6年) ペア(写真左側)
女子の部 第3位入賞 井上 優衣奈(6年)・寺岡 紗菜(6年) ペア(写真右側)



11月7日、第11回和歌山県小学生ソフトテニスシングルス選手権大会が、有田川町の金屋テニス公園で県内から男女各54名が参加し開催され優秀な成績を収めました。

男子の部 準優勝 中邑 夢弥(6年) 写真左
女子の部 準優勝 井上 優衣奈(6年) 写真右

11月14日、令和3年度和歌山県小学生ソフトテニス秋季研修大会を有田川町の金屋テニス公園で開催され、優秀な成績を収めました。

女子:低学年の部 優勝 秋山 友花(3年)・松浦 花梨(3年)



九度山幼稚園の園児が柿の収穫体験を行いました

11月15日、九度山幼稚園の園児たちが、幼稚園に通う園児の曾祖母の柿畑に招かれ、柿の収穫体験をしました。柿畑では、2人1組で、はさみを交代で使いながら、それぞれ気に入った柿を収穫しました。組になった相手が柿を収穫する際には、柿の実の近くの枝を持ってあげるなどそれぞれが収穫しやすくなるよう協力していました。自分で収穫した柿は、お土産に持ち帰りました。





講師

国土強靱化、
みんなで
守る・取り組む
地域の防災！

和歌山大学教育学部
此松 昌彦 教授



地域巡回 防災教室

南海トラフ大地震や大型台風など大災害が予想される中、住民や行政の防災意識の啓発が課題となっています。和歌山放送は、災害時のファーストインフォーマーとして、災害・防災情報の伝達や地域の防災意識の啓発を会社の基本経営姿勢として位置づけています。和歌山放送は、防災の専門家が各自治体と回って、地域の皆様と共に防災対策を考える地域巡回防災教室を開催します。

ストインフォーマーとして、災害・防災情報の伝達や地域の防災意識の啓発を会社の基本経営姿勢として位置づけています。和歌山放送は、防災の専門家が各自治体と回って、地域の皆様と共に防災対策を考える地域巡回防災教室を開催します。



— 講演内容 —

防災教室「災害時の避難所設置と運営」

- 避難所とは ●東日本大震災などの過去の避難所ではどんな経験した
- 避難所の設置と避難所運営ガイドライン
- 避難所の運営 ●コロナ禍での避難所運営

参加
無料

開催日 **2月5日(土)** 開場/13:30 開演/14:00
令和4年

場所▶**九度山町ふるさとセンター[5階大ホール]**

和歌山県伊都郡九度山町九度山1190-1

【主催】(株)和歌山放送 お問い合わせ『地域巡回防災教室』係(土日祝は休み) ☎073-432-7151 【共催】九度山町



教えてください！

あなたの和歌山県「こころの風景」**こころ旅**

NHK-BSプレミアムで放送する『にっぽん縦断こころ旅』。俳優の火野正平さんが、番組に寄せられたエピソードをもとに、地元の人々とふれあいながらこころの風景を訪ねます。“2022春の旅”は、和歌山県をスタート！奈良そして2021秋の旅で行けなかった京都・滋賀へ！その後山梨・群馬へ飛び、栃木・福島・宮城・岩手・青森を移動し北海道を目指す13週間の旅をします。その旅のルートは、皆さんから寄せられたお手紙で決まります！

皆さんの心にある九度山町の思い出の風景や情景を、エピソードを添えて出してみませんか？「何気ない風景」「思い出の風景」「忘れられない風景」「音の記憶と重なる情景」など

和歌山県の放送予定 令和4年3月28日(月)～4月1日(金)

応募方法 ①住所 ②名前 ③電話番号 ④性別 ⑤年齢 ⑥思い出の場所・風景
⑦場所にまつわるエピソードを記入して下記まで。

ファックス 03-3465-1327

はがき・封書 〒150-0001 NHK「こころ旅」係 (住所不要)

締め切り 和歌山県 令和4年2月7日(月) 必着！

▶詳しくは番組ホームページをご覧ください <http://nhk.jp/kokorotabi> または「こころ旅」で検索！

■問い合わせ NHKふれあいセンター 0570-066-066 (ナビダイヤル) または 050-3786-5000